卒業論文，修士論文のタイトル

早稲田大学基幹理工学部数学科 米田研究室 氏名 (学籍番号)

2019 年 12 月 23 日

概 要

ここには論文の要旨を書く．次のような 3 つを書くのが標準的．(1) 既に知られていること．(2) この論文では，どのような調査をしたのか．(3) その結果，何が分かったのか．

1 序論

第 1 章は問題の背景や準備を書く．文献 [1] は必ず書く．準備の式が多いときは第 2 章にまわす．

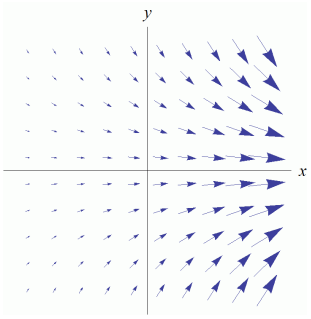
2 ○○問題についての考察

論文のメインとなる部分である．複数の章にしても OK.

$$\textbf{Einstein 方程式} \qquad R_{\mu\nu} - \frac{1}{2} R\, g_{\mu\nu} = \kappa T_{\mu\nu} \tag{1}$$

3 図の入れ方

1. jpg,gif,bmp などの画像ファイルを手に入れる．印刷物はスキャンする．
2. 画像ファイルを eps に変換する．EPS-Conv
3. tex ファイルにファイル名を書く．



4　注意

- である調に揃える.（ですます調でも良いが，混在は不可.）
- 句読点を「,.」に揃える.（「,。」でも良いが，混在は不可.）
- 数式内の変数の文字はイタリック．(例) $\sin x$ は OK，sin x は NG
- LaTeX の文法についてはネットで latex と検索して調べる.
- 使ったプログラム (C や Mathematica) もつける.

```
ClearAll["\<Global`*\>"]
q = 2; SetOptions[VectorPlot, Frame -> False, Axes -> True,
 BaseStyle -> {Italic, FontSize -> 20}, AxesLabel -> {x, y},
 Ticks -> None, VectorPoints -> 7];
VectorPlot[{-x, -y}, {x, -q, q}, {y, -q, q}]
VectorPlot[{-y, x}, {x, -q, q}, {y, -q, q}]
```

5　まとめ

この論文で，どんな問題を，どんな調べ方をし，何が分かったか，何が分からなかったか，などのまとめを書く．ある意味，概要の繰り返しだが，より詳しく具体的なものを書く．大学院へ進む人は，今後の研究の展望を書くのもよい.

謝辞を入れる.

参考文献

[1] J.J. キャラハン (樋口三郎　訳): 時空の幾何学 (シュプリンガー・フェアラーク東京, 2003)

[2] http://www.ojk.info.gifu-u.ac.jp/~isomura/tex.html
http://www002.upp.so-net.ne.jp/latex/